

小中一貫教育、CS・地学協働のさらなる充実へ

# 小中一貫・CS 通信

NO. 75 R8. 1. 27

幕別町教育委員会 学校教育推進員

各学園で活発に行われている「小中一貫・CS」の取組も、今年度のまとめの時期を迎える頃となりました。町内にある5つの学園には地域性や取組内容などにより、それぞれの特色があります。その様子を知りたいと思い、昨年11月に各学園事務局を訪問させていただきました。伺った内容は盛りだくさんでしたが、その中からいくつかの取組を学園ごとに通信で紹介していきます。スタートは【まくべつ学園】です！

まくべつ学園

心を一つに「協働」の姿勢で！

重点を大切にした「乗入授業」



左で紹介しているのは算数の授業の様子です。指導の重点は「計算力の向上」です。下で紹介している外国語の授業では「コミュニケーション能力の向上」が重点です。子どもたちの実態により設定した『教科ごとの重点』をもとに小中の先生方が同じ意識で協働し、乗入授業を通して学力の向上を目指しています。

小中で目的や重点を共有して行う乗入授業の実施は8年目を迎え、すっかり定着しています。指導内容の打合せは実施日の前の週に、Google ドライブを利用して行われています。

「協働」・「理解」をキーワードに



小中合同での生徒指導交流会や特別支援教育交流会も定期的に行われています。協議を進めていく中には「同じ目線で指導を行いたい」という考えや、「小中それぞれの子どもを知り、より良い指導に生かしたい」という思いが溢れています。

小中の先生方で話し合いを重ね、協働しながら規律の徹底を目指していることも印象的でした。義務教育学校に向けての準備も万全。4月の「まくべつ学園」開校が楽しみです。